

# 名谷 地名の由来

名谷（みょうだに）町・村

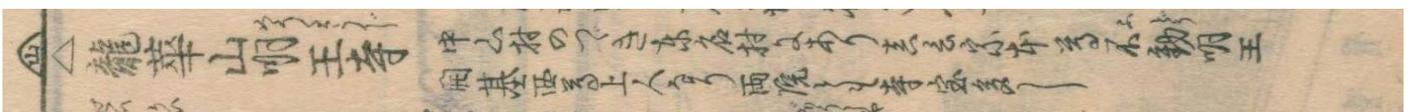
その名谷村が誕生したのは明治の初め。1889（明治22）年には周辺の村と合併して垂水村となり、その後、垂水町に。名谷は大字として残っていた。1941（昭和16）年、垂水町が須磨区に合併され、同区名谷町となった。46（同21）年には須磨と垂水区が分離し、名谷町は垂水区になった。神戸新聞NEXT

## 名谷地名の4説

- ① 滑（なめら）地区の明王寺の寺名から明王谷（みょうおうだに）→名谷。
- ② 律令制の崩壊とともに開墾田に個人名をつけた。その小区画を「名」とよんだことから。名田（みょうでん）から名付けられた。
- ③ 茗荷（みょうが）がとれる谷で、茗荷谷→名ヶ谷→名谷。
- ④ 柳田国男のいう稻積（いなづみ）で、稲の穂そのものを神にまつる場所「みょう」があった。

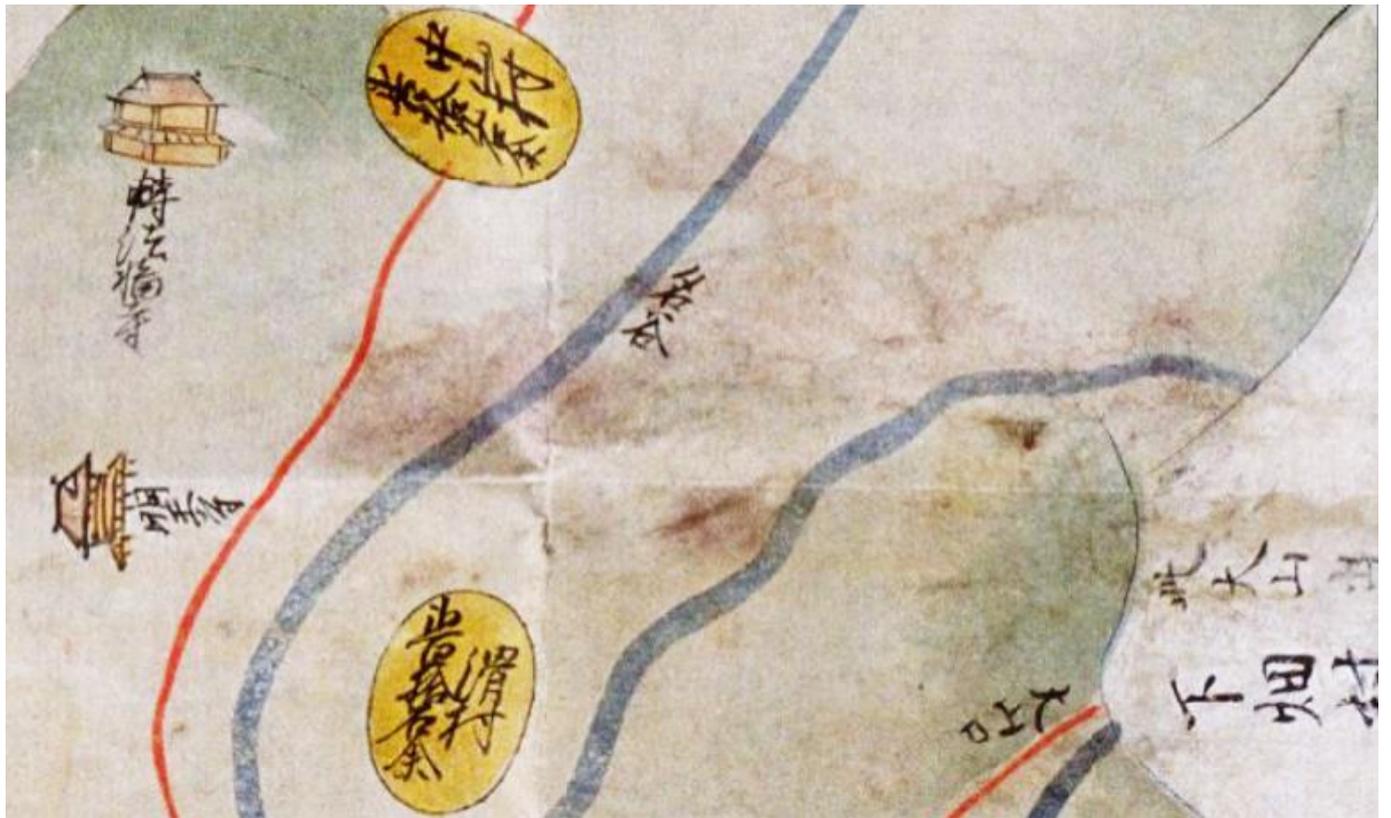
出典：第7期地域学のすすめ（神戸歴史クラブ理事長）豊田寛講師

## 明王寺

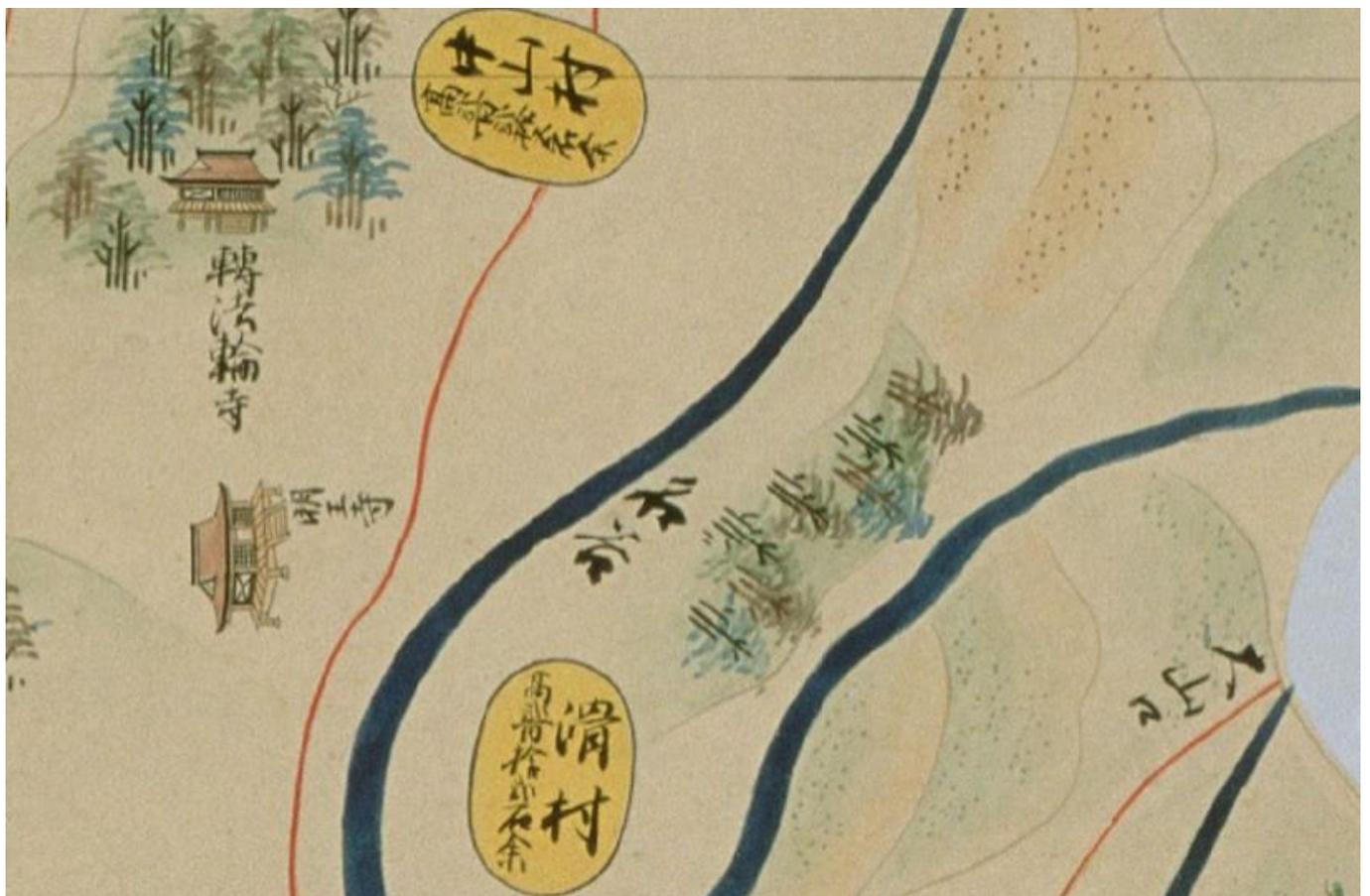


播磨名所巡覧図会 5巻. [2]-文化1 [1804]村上石田 著[他]出版者-塩屋忠兵衛 [ほか3名]

# 江戸時代の「名谷」の表れている絵図



元禄 播磨国絵図-元禄9～15年（1696～1702）-明石藩-国立公文書館デジタルアーカイブ

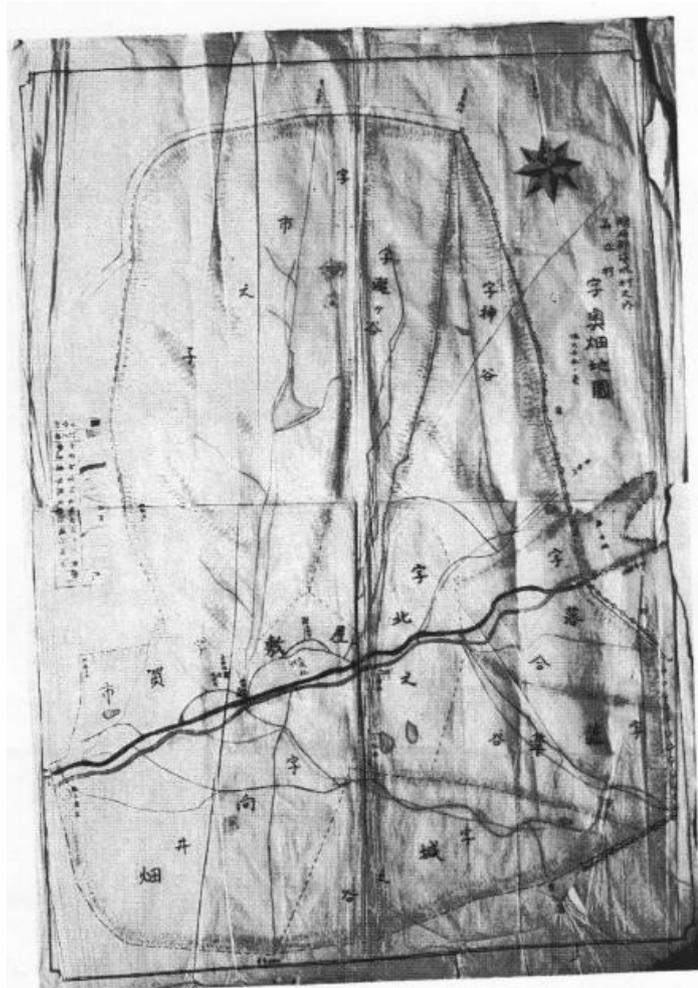


天保 播磨国絵図-天保6年～9年(1838年)-明石藩-国立公文書館デジタルアーカイブ

# 明治時代の「名谷村」の表れている地図・絵図



仮製地形図-明治 19 年 大日本帝国参謀本部陸軍測量局 名谷誌-昭和 48 年-名谷連合自治



明石郡垂水村之内名谷村字奥畑の地図（明石郡垂水村 明治 22 年~大正 2 年頃）名谷誌-昭和 48 年-名谷連合自治